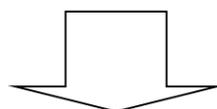


令和4年度授業改善推進プラン

教科 [美術] 科

学習状況の実態・調査結果等を踏まえた内容別・観点別分析表

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に授業への関心が高く、積極的に取り組んでいる。 ・スモールステップで学ぶことにより、目標を明確にもち、制作する態度を身に付けさせたい。 ・豊かな発想力を伸ばし、形や色彩の表し方など美術の基礎的技能をしっかりと身に付けさせることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に授業への関心が高く、積極的に取り組んでいる。 ・基礎的な絵画表現を学び、表現に幅をもたせていく。 ・制作目標に向かい、常に前向きに制作していく力を付けさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に授業への関心が高く、積極的に取り組んでいる。 ・対象物を真摯にみる目を養い、ものづくりの楽しさを実感させ、人生を彩り豊かにする美術の世界観を味わわせたい。 ・美術史を通して、美術の世界観を学び、自分へ還元・昇華させていく。



指導方法の課題分析と具体的な授業改善及び補充指導の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップの学習により、丁寧に学習することができている。制作速度を上げさせることにより、満足いく作品作りにこだわりたい。 ・道具の使い方、動かし方を丁寧に指導し、能率的な制作ができるようにする。 ・毎時間の美術が楽しいと感じさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品一つ、一つに丁寧にじっくりと取り組む。評価のための美術ではなく、自分の内面を掘り下げる制作にするため、必ず、最後まで、仕上げる。 ・授業最初のめあての確認を必ず行い、生徒が見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。 ・参考資料の適切な時期を判断し、参考資料の使い方を身に付けさせ、制作を順番立てて考えられるようにする。 (レタリングの本、色辞典等) ・制作上のアドバイスは、個別に行うため、1単元の時間内に時差をつけて行う。 ・生徒の活動の様子をみながら、指導を工夫する。 ・タブレットを用いて自分の表現したいものの適切なモチーフを探させることで表現の幅を広げる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く自分の思いを表現す力を身に付けさせたい。 ・技術力を高め、美的関心と美的視点をもたせたい。 ・丁寧に制作することで、ものづくりの楽しさを感じさせたい。 ・既習学習を基に、自分なりの発想へと進むことができる制作を行わせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・透視図が苦手な生徒も、自分の表現の思いが出てくるように、等角投影、グラデーションなど工夫した制作へと個別に指導していく。 ・美術が得意な生徒にはより完成度の高い制作へ導き、二点投資図法、配色の工夫など、一段階上の学習を行う。 ・制作の手順を理解し、制作する喜びが体現できるように、進捗を確認しながら進める。 ・基礎的な技術は、直接実演で示しながら講義する。直接、視覚的に提示することにより、理解を早める。 ・タブレットを用いて自分の表現したいものの適切なモチーフを探させることで、表現の完成度向上につなげる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組んでいるので、3学期まで、この高い意識を継続させて、人生に豊かな彩りをもたせたい。 ・美術史を通して先人たちの美的意識を学び、学習したことから自己の美意識へと昇華させたい。 ・他者からの評価ではなく、自分の表現したいことに意識を高まらせたい。 ・ワールド・カフェ等を実施し、グループ討議を行い、自己の美的観点を明確にさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に制作できるよう、教材を吟味し、提示する。 ・美術史を通して、美術の世界に陶醉し、美的意識と興味を高めさせていく。現代美術まで学び生活を豊かにする美術について考えさせる。 ・いろいろな種類の図鑑や参考作品を置き、発想を誘発するための材料として活用させる。また、下描きの段階ではアイデアを広げたり、深めたりして発想を膨らませて考えさせる。 ・表現の工夫ができるよう個々に合った技術を指導し、援助・支援をする。 ・タブレットを用いて自分の表現したいものの適切なモチーフを探させることで、表現の向上を行う。